

## 次世代の航路計画基準（中間報告 Ver.2）

### Design Standard for Fairway in Next Generation (Interim Report, Ver.2)

#### 概要

本資料は、平成11年度から航海学会規格委員会と国土交通省国土技術政策総合研究所港湾研究部（当初は、運輸省港湾技術研究所計画設計基準部）が「次世代の航路計画基準」について検討した成果を中間報告としてとりまとめたものである。

#### キーワード：

日本航海学会, 航路計画基準, 航路水深, 航路幅員, 航路法線

#### Synopsis

Japan Institute of Navigation and Port Division in National Institute for Land and Infrastructure Management (at the beginning, Planning and Design Standard Division in Ports and Harbors Research Institute, Ministry of Transport) have studied jointly on 'The new generation fairway design standard' since fiscal year 1999. In this note the results obtained so far are to be introduced as an interim report.

#### Keywords

Japan Institute of Navigation, Fairway design standard, Depth of fairway, Width of fairway, Alignment of fairway

航路の水深、幅員、屈曲部形状等については、対象となる船舶の特性、周辺の自然環境等の種々な要素を考慮して計画することが必要である。しかしながら、現在の「港湾の施設の技術上の基準」ではこれらの点への対応が出来ない状況である。

このために、国土技術政策総合技術研究所港湾研究部（当初は、港湾技術研究所計画設計基準部）は、平成11年度から航海学会規格委員会と共同して次世代の航路計画基準に関する研究を開始した。

本資料は、これまでの3年間の成果を中間報告としてとりまとめたものである。今後は、引き続き「港湾の施設の技術上の基準」の次期改訂に向けて研究を継続する予定である。

なお、本資料は平成15年4月に「中間報告 (Ver.1)」として公表した内容について、全文の英訳および関係学会許可のもとでの関連論文の掲載等の変更を加えたことから「中間報告 (Ver.2)」とした。

国土技術政策総合研究所 港湾研究部